

英国のロマンチック事情

Valentine's Day が近づく今月は、恋の雰囲気に含まれます。英国のロマンス事情とそれに関する英語表現をご紹介します。

Valentine's Day は、恋人たちだけでなく、英国で最もロマンチックな場所であるとされる 'Gretna Green' の住民にとっても、大変忙しい日になります。'Gretna Green' は、スコットランド*南西部の可愛い村。イギリスで 21 歳未満は両親の承諾なしでは結婚ができない法律が可決された 1754 年以来、結婚のメッカです。というのも、この村は親の承諾が必要な婚姻年齢が 16 歳未満のスコットランドの中でも、イギリスとの境界線を越えた場所に位置していたため、カップル達が駆け落ちし 'tie the knot' (結婚) するために訪れる習慣が始まったのです。また、この村は 'shotgun marriages' (出来ちゃった婚) の場所としても知られています。現在でも、'Gretna Green' はロマンチックなイメージを持ち続け、スコットランド全体の 17% にあたる毎年 4000 以上のカップルが 'get hitched' (結婚する) 場所に選んでいます。

その他のロマンチックな場所といえば、毎年ヨーロッパ最大の 'お見合いフェスティバル' が開催される、ダブリンに程近い北アイルランドの Lisdoonvarna という田舎町でしょうか。6 週間の間、世界中からロマンスを追い求める人々がこの小さな町の、ダンスやパーティー、競馬などといった 7 箇所のお見合い場所へと向かいます。Matchmaker (仲人役) は低料金で出会いを 'set you up with' (アレンジ) し、見込みがありそうなペアがより深く知り合うためにおしゃべりやお茶を楽しむ部屋を用意します。フェスティバルへの参加費用は 10~40 ユーロで、参加する 1 人の女性に対して 17 人の男性がいるので、女性の参加費は低く設定してあります。この 'お見合いフェスティバル' での出会いがどれだけ 'popping the question' (男性からのプロポーズ) に結びついているかは、残念ながら不明ですが、フェスティバルへの熱意は冷めることなく、毎年約 20000 人が参加しています。

このようにロマンチック路線が強い英国ではありますが、ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) の一つである Facebook を使ったの出会い探しや、合コンといった現代的な方法も、もちろん人気です。

余談ですが、花嫁が、結婚式のために '出来るだけ肌を焼こうと南の地域へ短期の婚前休暇をとる傾向もあります。(地元の日焼けサロンを利用するひとも中にはいますが...) 美白傾向が強い日本、特に「白い肌」で美人が多いとされる秋田ではこのトレンドは...? !

Written by Philip Patrick

Copyright © British Council, All right Reserved.